

◆甲子園短期大学の教育方針

建学の精神と教育理念

甲子園短期大学は、校訓三綱領「**黽勉努力**」「**和衷協同**」「**至誠一貫**」の建学の精神にもとづき、広い一般教養と専門的知識・技能を授け、健全円満な人格の陶冶を図るとともに、専門の職業に従事し、社会の発展に貢献できる人材の養成を教育理念としています。

<建学の精神・校訓三綱領>

第一の「**黽勉努力**」びんべんどりよくとは、教養を深め専門的な知識と技能を兼ね備え自立するために、自らの意思に従って勉め励むことです。

第二の「**和衷協同**」わちゆうきょうどうとは、共に学び育ち平和的心情を養い、社会にあっても心を同じくして互いに力を合わせ協調することです。

第三の「**至誠一貫**」しせいいつぱんとは、高い倫理観と幅広い人間性を培い、困難に際しても真心をもって一筋に信念を貫き通すことです。

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）

甲子園短期大学は、以下のような学生（高校生・社会人）を求めています。

【全学アドミッション・ポリシー】

1. 高等学校で学んだことを継続的・発展的・多面的に捉え、発信していこうとする人。
2. 目的意識をもって、主体的にチャレンジできる人。
3. 教養を深めて、専門的な知識と技能を獲得するために自ら努力しようとする人。
4. 豊かな感性と創造力、コミュニケーション能力を有し、社会の一員として自覚と責任感をもって行動できる人。
5. 他者と協力しながら共に学び、社会に貢献しようとする意欲のある人。

【生活環境学科アドミッション・ポリシー】

1. 生活を取り巻く環境・健康・福祉に興味関心がある人。
2. 他者の気持ちを理解し、円滑なコミュニケーションと人間関係を築こうとする人。

【幼児教育保育学科アドミッション・ポリシー】

1. 子どもの成長、発育・発達に興味関心がある人。
2. 子どもや他者から信頼され、地域社会と連携できる保育者をめざす人。

カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成方針）

甲子園短期大学では、学位授与の方針に掲げる能力の習得を目的として、本学の教育理念に基づき、幅広い一般教養を培う総合教養科目と専門的知識や技能を授け社会の発展に貢献できる人材を養成するための専門科目を体系的に配置し、以下の方針に基づいてカリキュラム（教育課程）を編成する。

【総合教養科目】

1. 総合教養科目は、必修科目の「人間教育の基礎」のほか、選択科目の「社会とくらし」「いのちと健康」「表現と情報」「芸術」「国際交流と国際理解」「園芸」の併せて7分野を設け、教養を高め健全円満な人格の陶冶に資する科目を設定する。
2. 総合教養科目の必修科目として特別演習（基礎演習を含む）を設け、本学の建学の精神と教育理念を理解し実践力を高め、幅広い教養の習得を図る。
3. 総合教養科目の中に、これからの社会における社会人基礎力を高めるためのキャリア科目を設ける。

【生活環境学科専門科目】

1. 生活環境学科には、「ライフキャリアフィールド」と「介護福祉フィールド」の2つのフィールドを設置し、それぞれの専門に対応する実践的なカリキュラムを編成する。
2. ライフキャリアフィールドは、「医療事務」「食と健康」「ソーシャルビジネス」「福祉」の4つの分野を設け、それぞれの分野の特徴に応じた科目群を配置し、専門的知識や技能を習得させ、資格取得をめざす。
3. 介護福祉フィールドには、介護福祉士に必要な知識や技術を習得するための科目群を配置し、介護福祉士国家試験の合格をめざす。

【幼児教育保育学科専門科目】

1. 幼児教育・保育の基礎理論に関する科目とその応用科目を体系的に配置し、子どもの成長と発達を援助できる総合的な実践力を養うためのカリキュラムを編成する。
2. 幼児教育・保育に関する専門的な知識や技能を身につけ、幼稚園教諭二種免許状及び保育士資格の取得をめざす。

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与に関する方針）

甲子園短期大学では、以下の能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生は、卒業が認定され、短期大学士の学位が授与される。

【全学ディプロマ・ポリシー】

（関心・意欲・態度）

1. 自立のために目標を明確にし、自らの意思で努力できる。（勉勵努力）
2. コミュニケーションにより互いに理解し、力を合わせることができる。（和衷協同）
3. 高い倫理観をもち、真心をもって誠実に行動することができる。（至誠一貫）

（知識・理解）

4. 倫理・道徳的な教養と専門的知識を身につけている。

（思考・判断）

5. 時代に対応した専門的知識や技能を実践的場面で活用でき、継続して自ら学び続けることができる。

（技能・表現）

6. 適切な情報を選択し、自ら考え、他者に提示できるとともに、新たな価値を創造し発信することができる。

【生活環境学科ディプロマ・ポリシー】

（知識・理解）

1. 生活を取り巻く環境・健康・福祉に関する知識と技術を身につけ、生活場面及び地域社会で活用できる。

（思考・判断）

2. 人を思いやる心を持って、豊かで安全・快適な生活を創造するため、主体的に行動できる。

（技能・表現）

3. 多様な職種の役割を理解するとともに、円滑なコミュニケーションを図り、他者と連携し協同することができる。

【幼児教育保育学科ディプロマ・ポリシー】

（知識・理解）

1. 幼児教育・保育に関する知識と実践に役立つ技術を身につけ、活用できる。

（思考・判断）

2. 個性と発達の多様性を理解し、保育者として主体的・多面的・客観的に考察し、適切に行動できる。

（技能・表現）

3. 子どもを共感的に理解し、多様な立場を理解するとともに地域と連携し、専門的知識や技能を保育と教育の現場で活用できる。